

令和7年度 第1回

中高生版

SNSを活用した アンケート結果

東京都子供政策連携室
令和7(2025)年11月

「SNSを活用したアンケート」について

- 東京都では、中高生の皆さんの様々な意見を広く収集するため、日常的に使用しているSNSを活用したアンケートを実施しています。
- 中高生の皆さんのが「日ごろのくらしの中で感じていること」や「東京都の事業について思っていること」等を知り、様々な政策や取組につなげていきます。

【概要】

都内在住又は在学の13歳から18歳のSNSユーザーに対して匿名型アンケートを実施

実施時期	回答者数	テーマ
令和7(2025)年 6月12日～23日	5,000人	<ul style="list-style-type: none">●中高生の進路選択<ul style="list-style-type: none">・性別による無意識の思い込み・福祉の仕事・路線バスの整備士や運転手の仕事●インターネットトラブル

※「高校生」には、高校生相当年齢(15～18歳)の子供を含みます。

※n(number of cases)は、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。

※小数点第2位以下は表示していないため、合計が100%にならない場合があります。

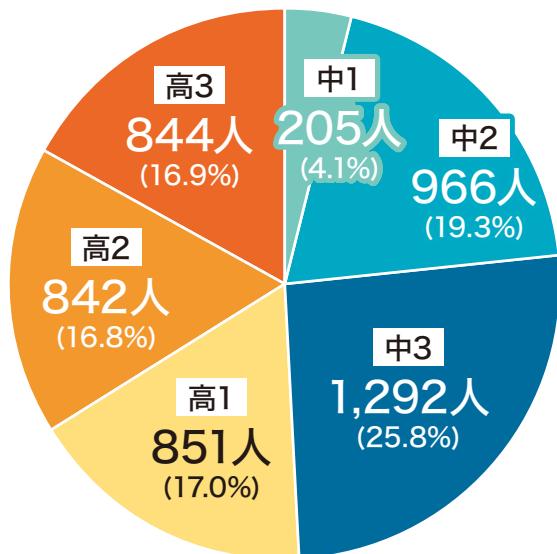
目次

1.回答者属性	2ページ
2.「中高生の進路選択」について	3～10ページ
①「性別による無意識の思い込み」について	3～6ページ
②「福祉の仕事」について	7～9ページ
③「路線バスの整備士や運転手の仕事」について	10ページ
3.「インターネットトラブル」について	11～15ページ
東京都の取組紹介	16ページ

1.回答者属性

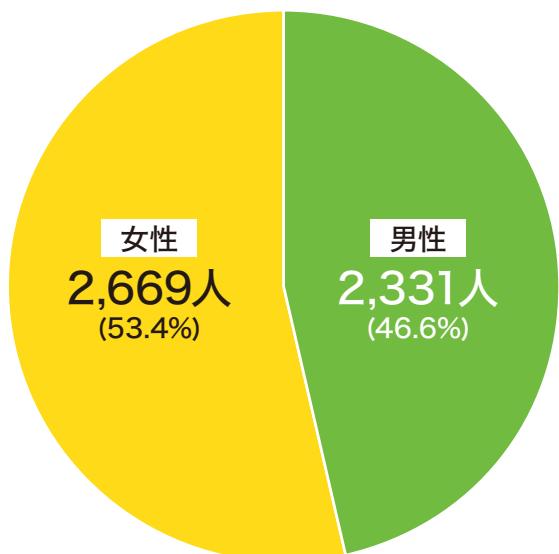
中高生等の割合

n=5,000



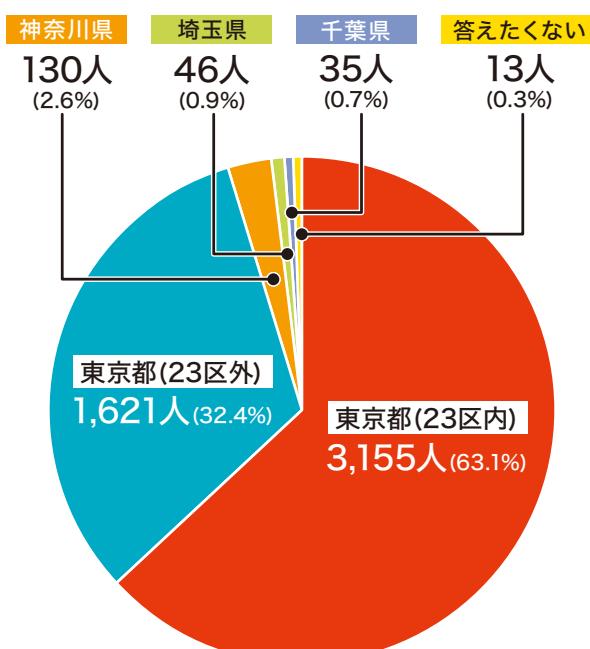
性別

n=5,000



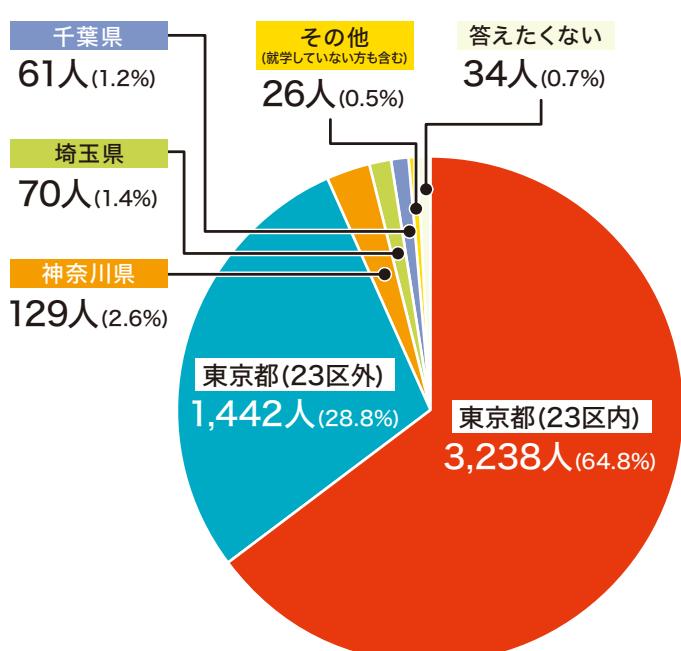
住んでいる都道府県

n=5,000



通っている学校の所在地

n=5,000



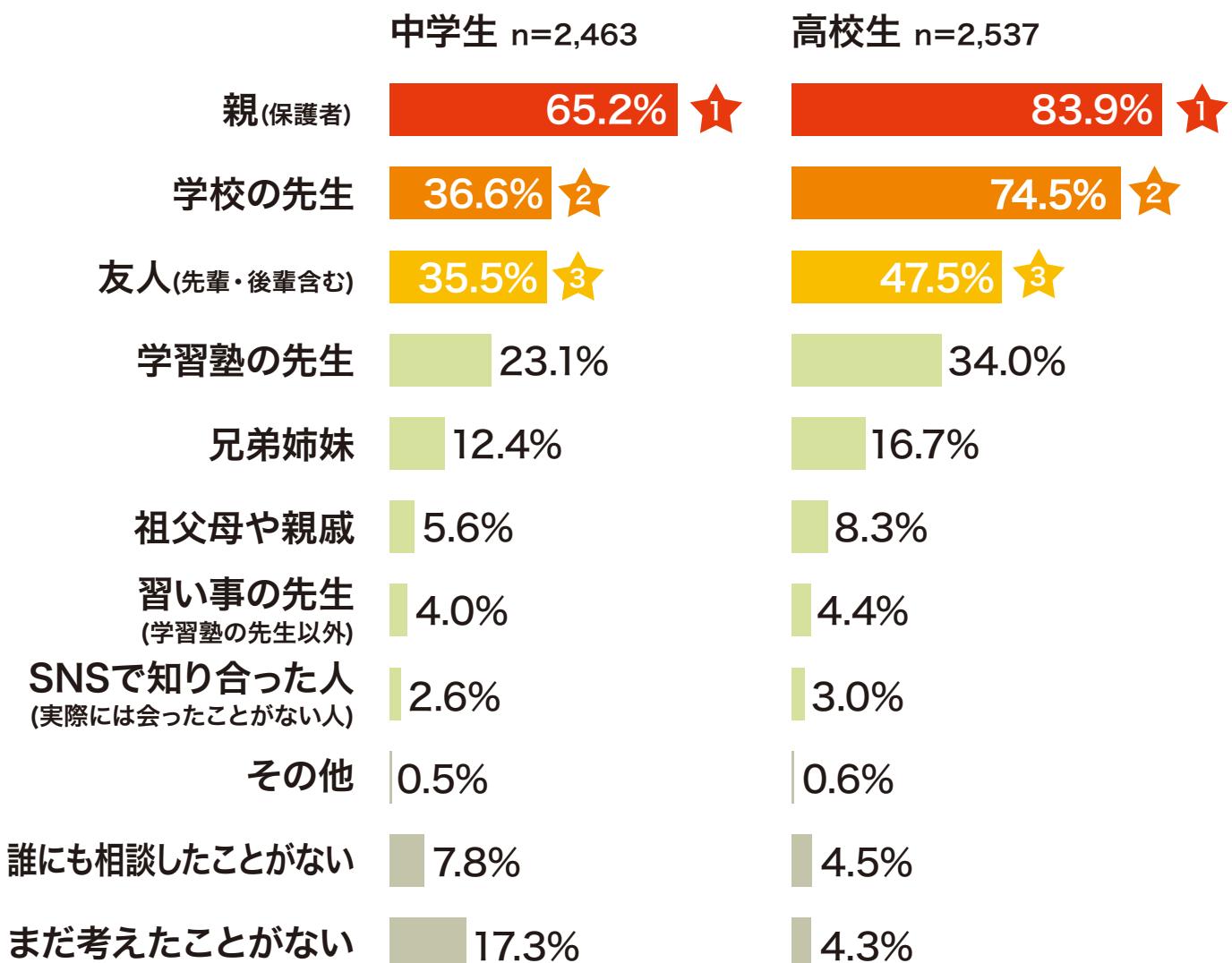
2. 「中高生の進路選択」について

① 「性別による無意識の思い込み」について

Q.1

進路選択(学校選択や職業選択)について
誰に相談したことがありますか。(いくつでも)

- 中学生・高校生ともに、「親(保護者)」が最も高く、続いて「学校の先生」、「友人(先輩・後輩含む)」となっています。



※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並び替え
(「その他」「誰にも相談したことがない」「まだ考えたことがない」を除く)

Q.2

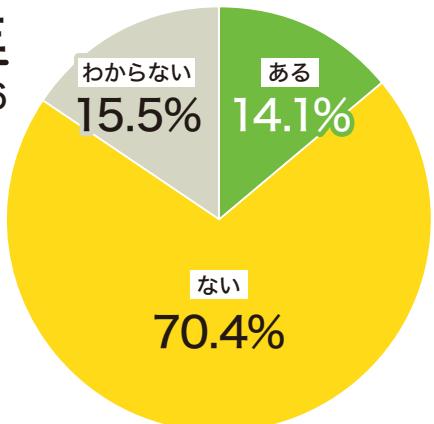
進路選択の相談をした時に「男だから」「女だから」という視点で意見をもらった経験はありますか。(ひとつだけ)

Q1で「相談をしたことがある(『誰にも相談をしたことがない』『まだ考えたことがない』以外)」と回答した方のみ

- 中学生・高校生ともに、「ない」が最も高く、「ある」と回答した中学生は14.1%、高校生は12.1%となっています。
- 性別で見ると、男性・女性ともに「ない」が最も高くなっていますが、「ある」と回答した男性は10.6%、女性は14.9%と、女性の方が男性より4.3ポイント高くなっています。

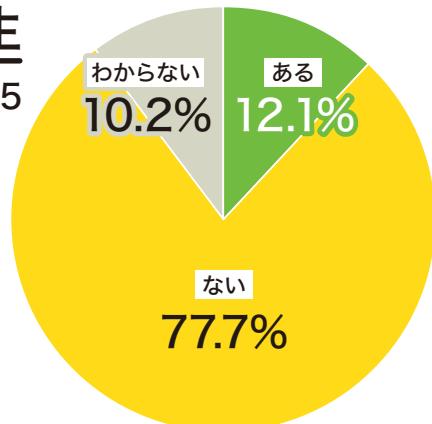
中学生

n=1,846



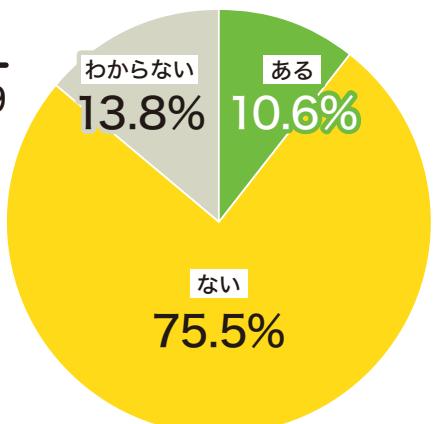
高校生

n=2,315



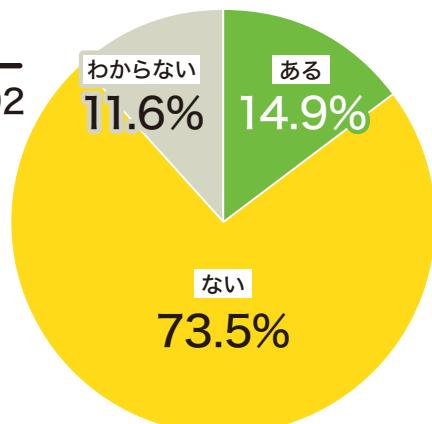
男性

n=1,869



女性

n=2,292

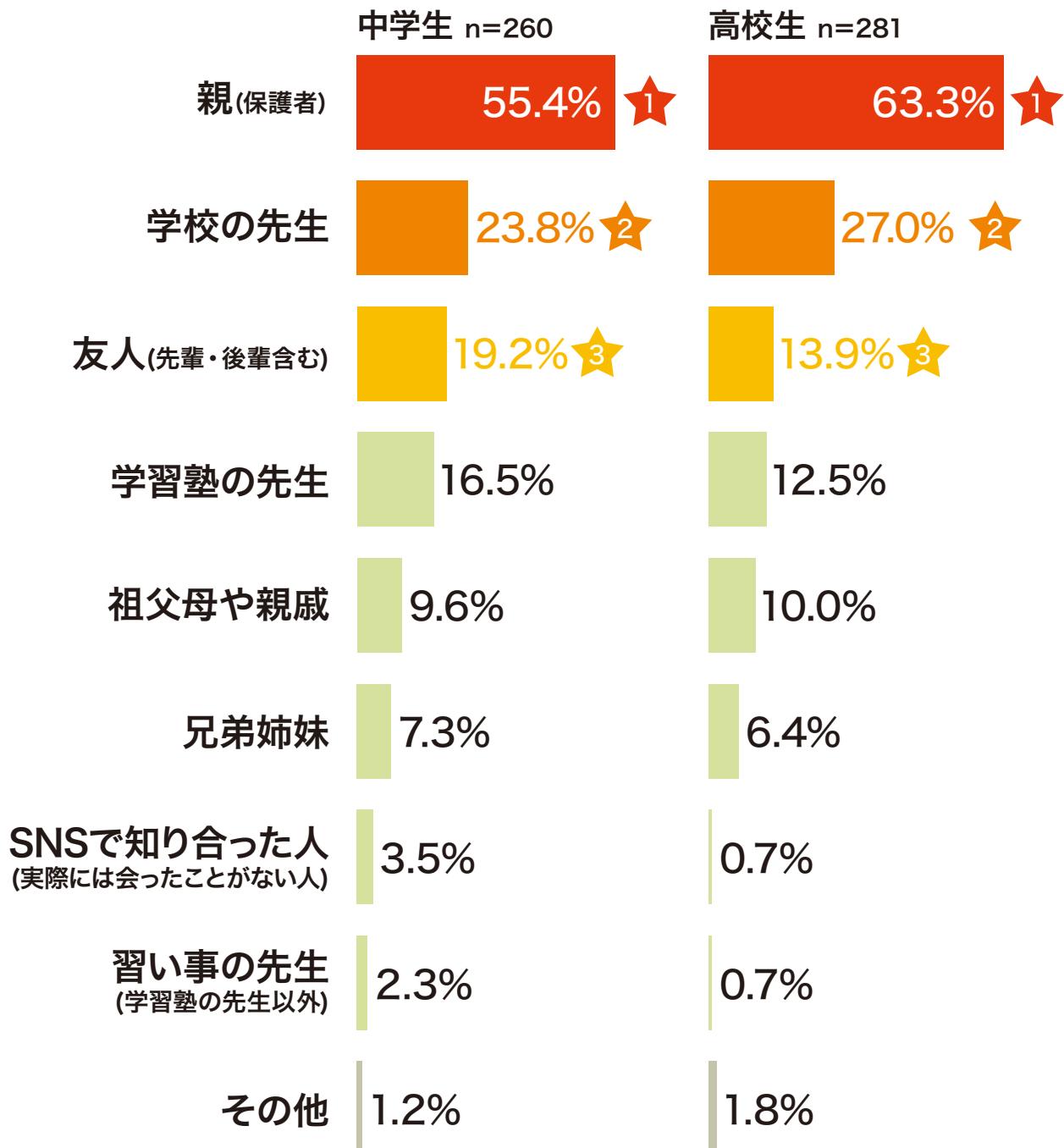


2.「中高生の進路選択」について ①「性別による無意識の思い込み」について

Q.3

Q.2で「ある」と回答した方のみ
その意見は誰からもらいましたか。(いくつでも)

- 中学生・高校生ともに、「親（保護者）」が最も高く、続いて「学校の先生」、「友人（先輩・後輩含む）」となっています。



※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並び替え（「その他」を除く）

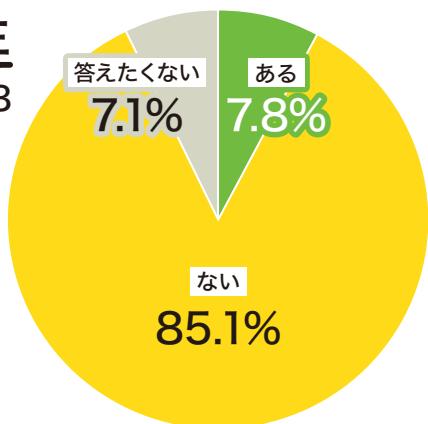
Q.4

「男子だから」「女子だから」という理由で、自分の進路を変更したり、考え直した経験はありますか。(ひとつだけ)

- 中学生・高校生ともに、「ない」が最も高く、「ある」と回答した中学生は7.8%、高校生は6.3%となっています。
- 性別で見ると、男性・女性ともに「ない」が最も高くなっていますが、「ある」と回答した男性は5.2%、女性は8.6%と、女性の方が男性より3.4ポイント高くなっています。

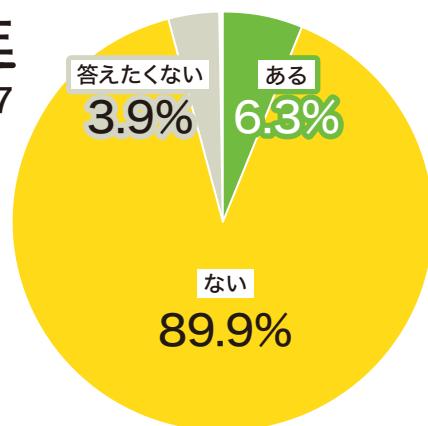
中学生

n=2,463



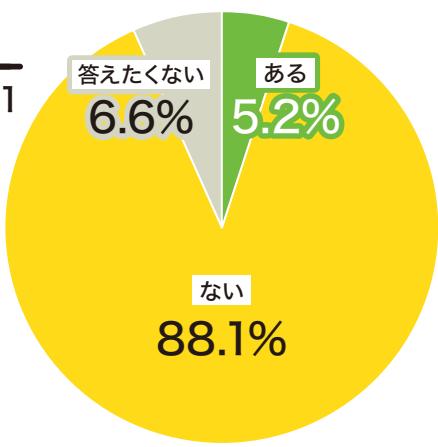
高校生

n=2,537



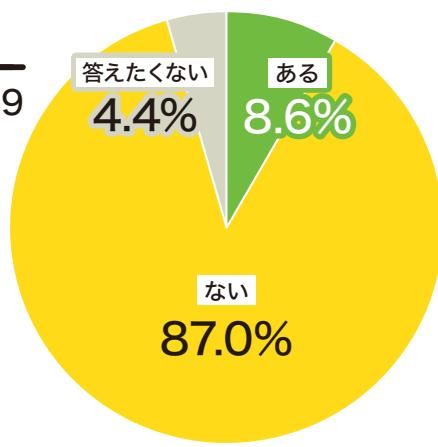
男性

n=2,331



女性

n=2,669



東京都から中高生の皆さんへメッセージ

進路選択について「男だから」「女だから」という視点から意見をもらったことのある中高生は1割以上いることがわかりました。

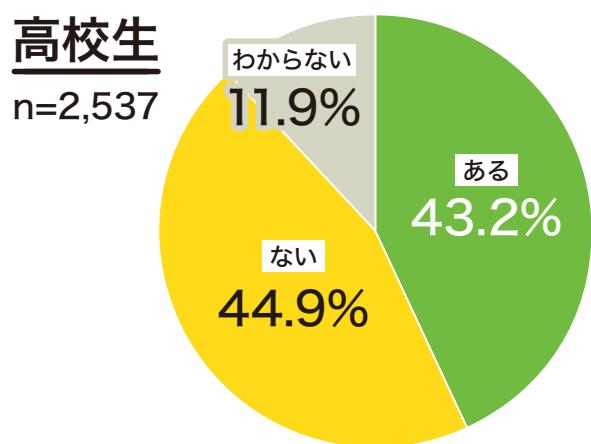
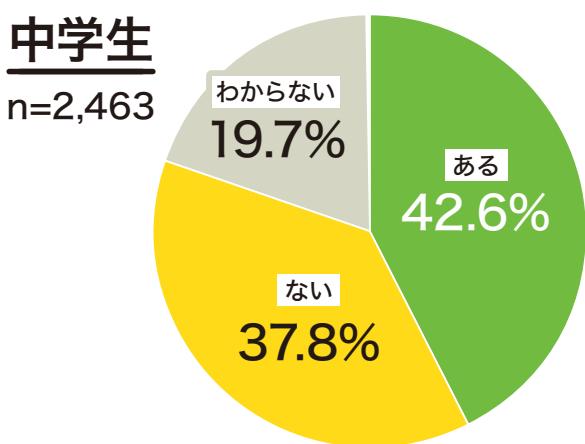
東京都では、性別にとらわれず、男性も女性もあらゆる人が自ら望むキャリアを歩み、自分らしく輝き続けていけるように、政策や取組を考え、実行していきます。

Q.5

今までに、福祉の仕事を体験したことはありますか。
 福祉の仕事には、例えば、高齢者の介護・障害者の支援・保育などが含まれます。
 (いくつでも)

- 中学生・高校生ともに「福祉の仕事を体験したことはない」は4割前後でした。
- 体験した時期については、中学生・高校生ともに「中学生または高校生(相当年齢含む)のときにある(職場体験など、学校での活動)」が最も高くなっています。

福祉の仕事を体験したことがあるか



中学生または高校生(相当年齢含む)のときにある
(職場体験など、学校での活動)

中学生 n=2,463

20.4%

中学生または高校生(相当年齢含む)のときにある
(ボランティアやイベントなど、校外の活動)

9.3%

高校生 n=2,537

20.9%

小学生のときにある
(総合的な学習の時間など、学校での活動)

18.8%

13.8%

小学生のときにある
(ボランティアやイベントなど、校外の活動)

11.5%

15.3%

小学生になる前にある

3.4%

8.9%

福祉の仕事を体験したことはない

37.8%

44.9%

わからない

19.7%

11.9%

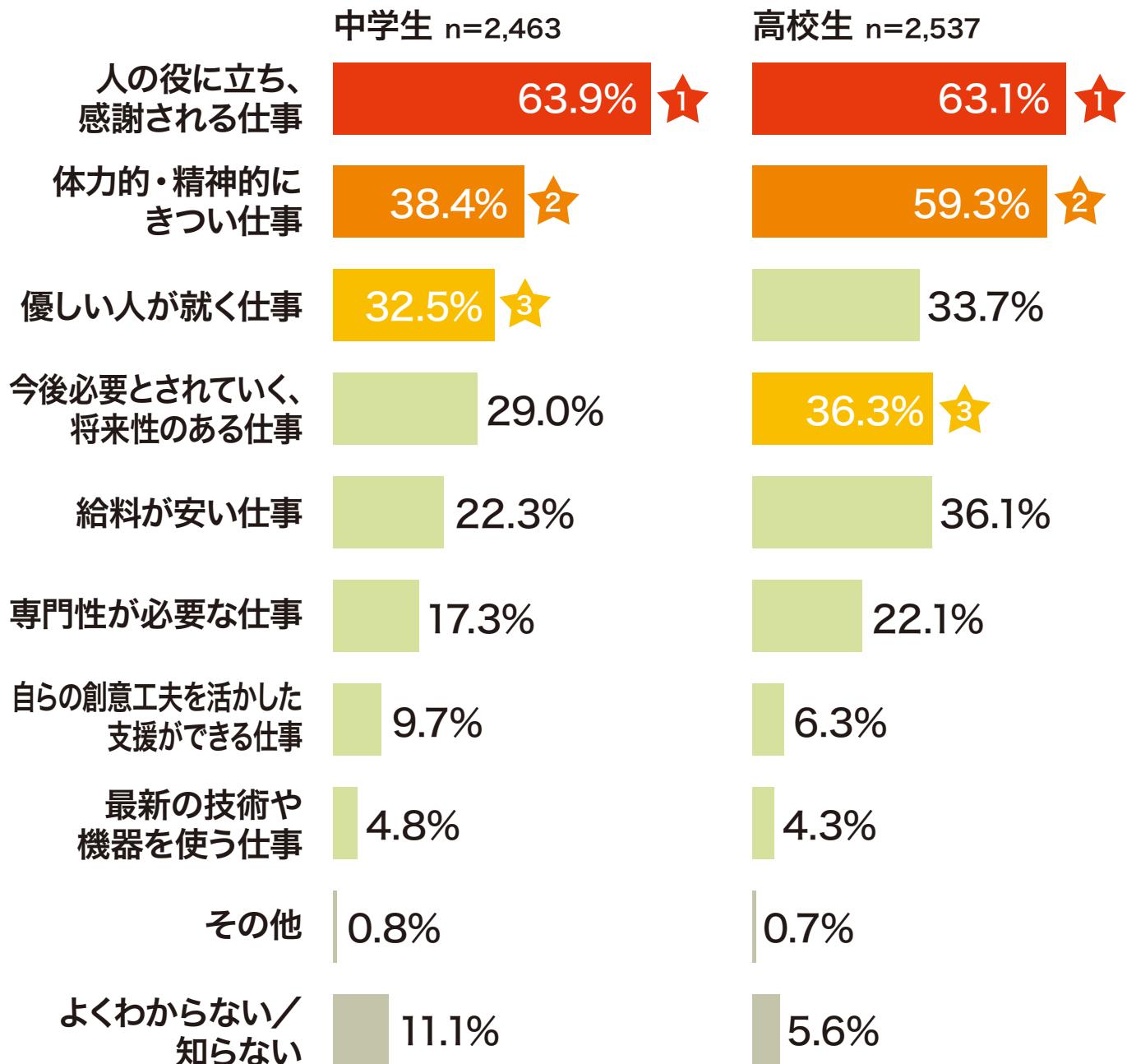
※選択肢「中学生または高校生(相当年齢含む)のときにある(職場体験など、学校での活動)」から
 「小学生になる前にある」は複数回答可のため、全体の「ある」の割合と選択肢の%の合計が一致しない

2.「中高生の進路選択」について ②「福祉の仕事」について

Q.6

「福祉の仕事」と聞いて、どんなイメージを持ちますか。
(いくつでも)

- 中学生・高校生とともに、「人の役に立ち、感謝される仕事」が最も高く、続いて「体力的・精神的にきつい仕事」となっています。

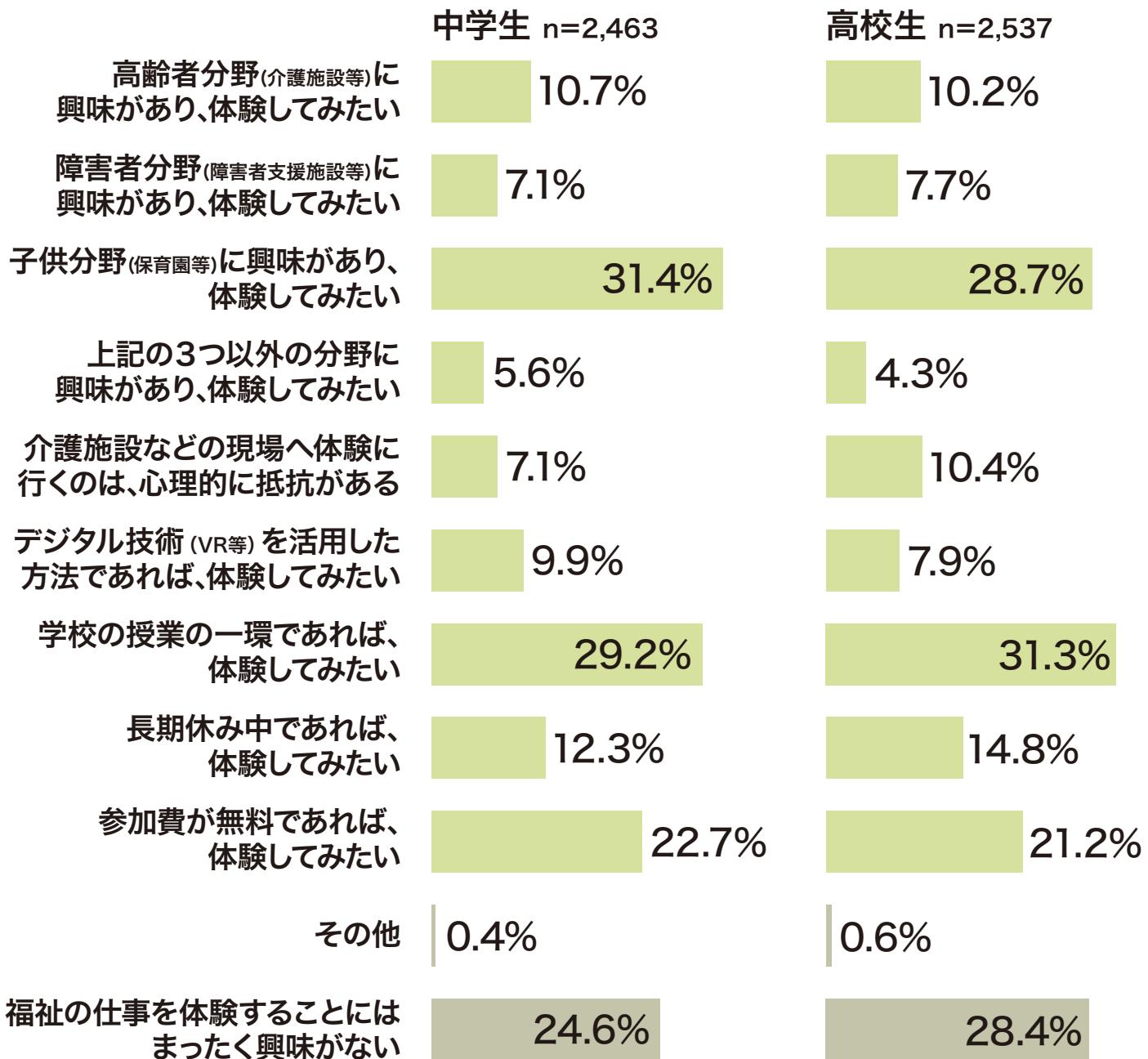


※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並び替え（「その他」「よくわからない/知らない」を除く）

Q.7

福祉の仕事を体験することについて、どう考えますか。
(いくつでも)

- 中学生では「子供分野（保育園等）に興味があり、体験してみたい」が最も高くなっています。
- 高校生では「学校の授業の一環であれば、体験してみたい」が最も高くなっています。



東京都から
中高生の皆さんへ
メッセージ

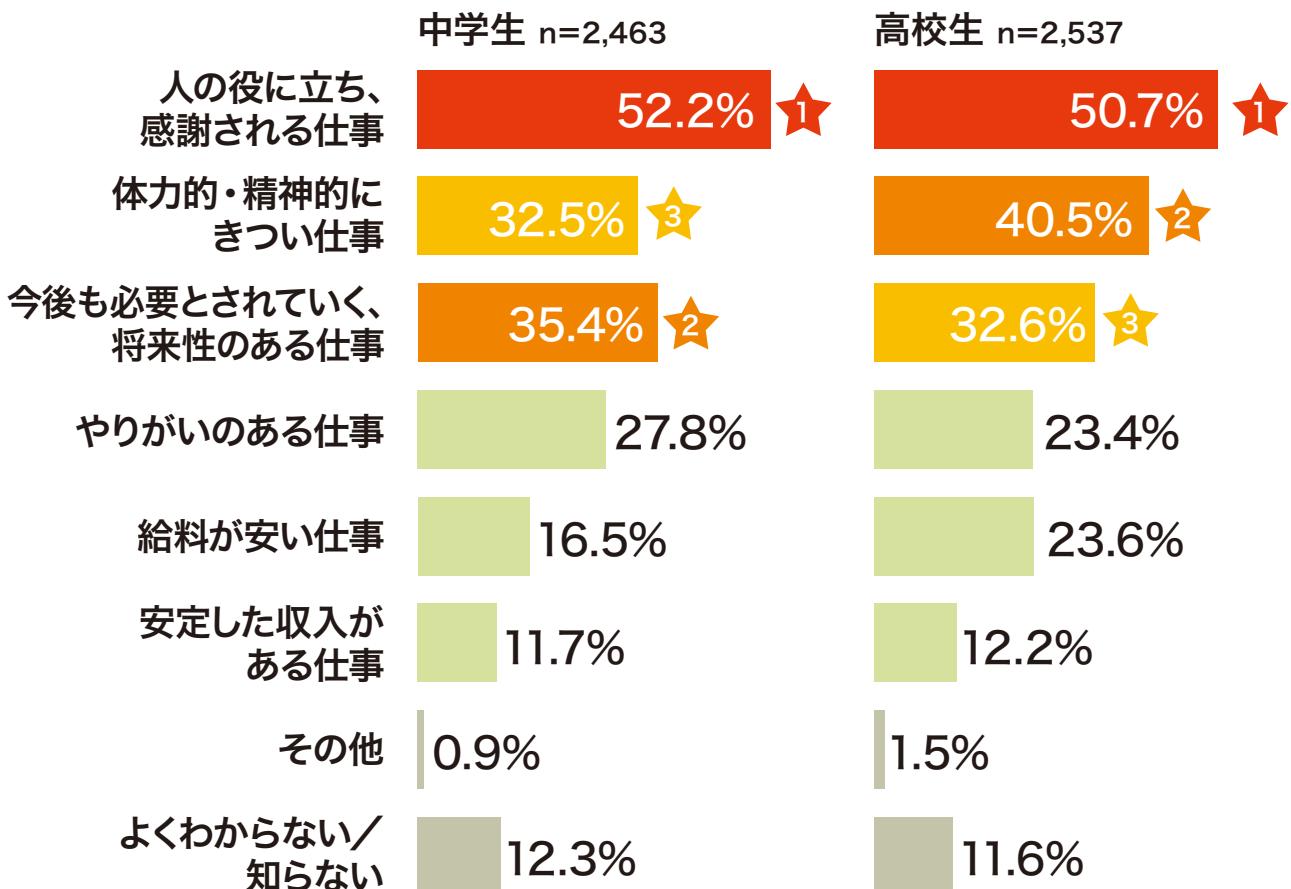
「福祉の仕事」と聞いて、どんなイメージを持っているかについて、中学生・高校生とともに「人の役に立ち、感謝される仕事」が最も多くなっています。一方で、次に多いのは「体力的・精神的にきつい仕事」となっています。

東京都では、多くの中高生の皆さんに福祉の仕事についての理解・関心を深めてもらうため、福祉の仕事体験などの取組を進めていきます。

Q.8

路線バスの整備士や運転手の仕事について、
どのようなイメージがありますか。(いくつでも)

- 中学生・高校生ともに、「人の役に立ち、感謝される仕事」が最も高くなっています。
- 次に高いのは、中学生では「今後も必要とされていく、将来性のある仕事」、
高校生では「体力的・精神的にきつい仕事」となっています。



※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並び替え(「その他」「よくわからない/知らない」を除く)

東京都から中高生の皆さんへメッセージ

路線バスの整備士や運転手の仕事について、中学生・高校生ともに「人の役に立ち、感謝される仕事」や「体力的・精神的にきつい仕事」等のイメージを持っていることがわかりました。

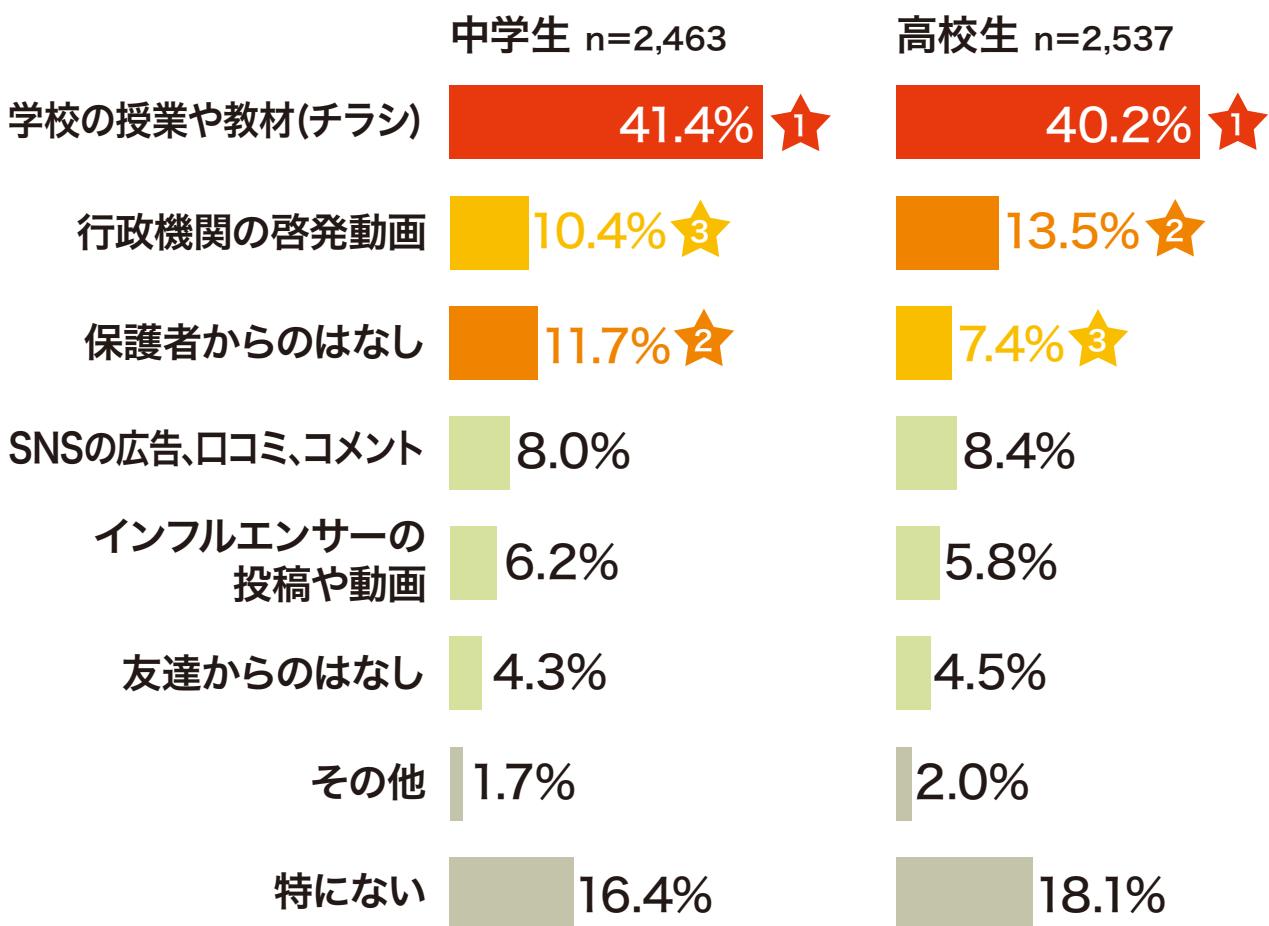
皆さんのイメージのとおり、人々の移動を支える非常に重要なでやりがいのある仕事ですので、その魅力が広く伝わるよう取り組んでいきます。

3. 「インターネットトラブル」について

Q.9

あなたはインターネットの適切な利用やインターネットでトラブルにあわないようするために、どこで得た情報を一番参考にしますか。(ひとつだけ)

- 中学生・高校生ともに、「学校の授業や教材(チラシ)」が最も高くなっています。
- 次に高いのは、中学生では「保護者からのはなし」、高校生では「行政機関の啓発動画」となっています。(「特がない」を除く)



※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並べ替え(「その他」「特がない」を除く)

3.「インターネットトラブル」について

Q.10

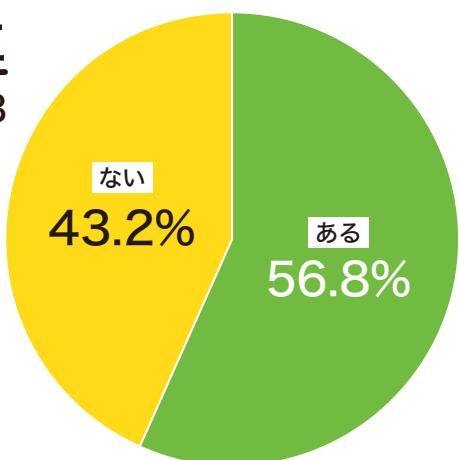
インターネット上(SNS、オンラインゲーム等含む)で知り合った人とやりとりをしたことはありますか。(いくつでも)

- 中学生・高校生ともにやりとりしたことが「ある」が6割前後でした。
- どんなやりとりをしたかについては、
中学生・高校生ともに「DMなどメッセージのやりとりをした」が最も高くなっています。

インターネット上で知り合った人とやりとりをしたことがあるか

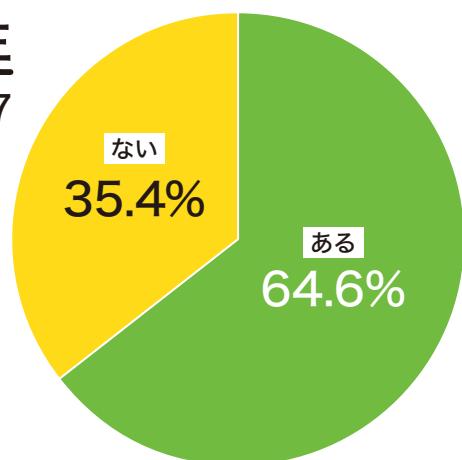
中学生

n=2,463



高校生

n=2,537



どんなやりとりをしたか

中学生 n=2,463

DMなどメッセージのやりとりをした

49.1%

自分の写真を送ったり、
相手の写真を送ってもらったりした

10.5%

音声通話やビデオ通話をした

19.2%

名前や年齢など個人を特定できる
情報のやりとりをした

9.3%

その他

1.2%

やりとりしたことはない

43.2%

高校生 n=2,537

58.1%

14.0%

25.0%

14.7%

0.9%

35.4%

※選択肢「DMなどメッセージのやりとりをした」から「その他」は複数回答可のため、
全体の「ある」の割合と選択肢の%の合計が一致しない

3.「インターネットトラブル」について

Q.11

インターネット上(SNS、オンラインゲーム等含む)で知り合った人と実際に会ったことはありますか。会ったことがある人は、会った理由を教えてください。(いくつでも)

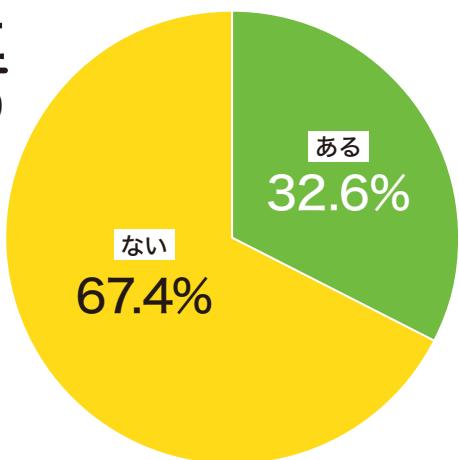
Q10で「やりとりをしたことがある(「やりとりしたことはない」以外)」と回答した方のみ

- 中学生・高校生ともに実際に会ったことが「ない」が最も高くなっています。
- 会った理由については、中学生・高校生ともに「(共通の趣味があるなど)楽しそうだと思ったから」が最も高くなっています。

インターネット上で知り合った人と実際に会ったことがあるか

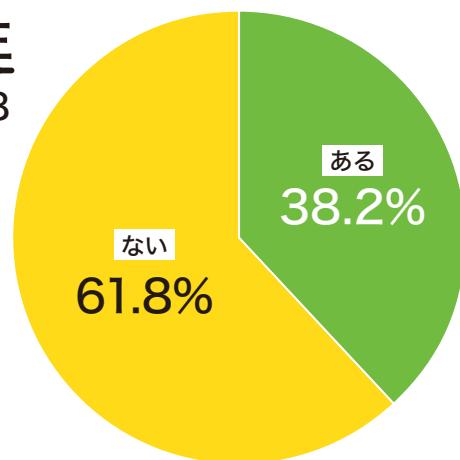
中学生

n=1,399



高校生

n=1,638



会った理由

中学生 n=1,399

(共通の趣味があるなど) 楽しそうだと思ったから	23.6%
好意を抱いたから	8.6%
物を買ってもらえる と思ったから	0.9%
食事をご馳走してくれる と思ったから	0.9%
その他	3.3%

高校生 n=1,638

(共通の趣味があるなど) 楽しそうだと思ったから	30.3%
好意を抱いたから	10.5%
物を買ってもらえる と思ったから	1.3%
食事をご馳走してくれる と思ったから	1.1%
その他	3.1%

会ったことはない

67.4%

61.8%

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が高い順に並び替え(「その他」「会ったことはない」を除く)

※選択肢「(共通の趣味があるなど)楽しそうだと思ったから」から「その他」は複数回答可のため、

全体の「ある」の割合と選択肢の%の合計が一致しない

3.「インターネットトラブル」について

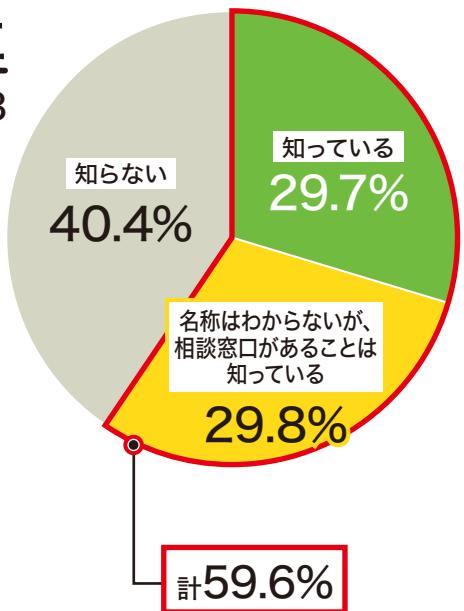
Q.12

インターネットでのトラブルにあった時に相談できる東京都の窓口(「こたエール」)があることを知っていますか。(ひとつだけ)

- 中学生・高校生ともに「知らない」が最も高いですが、「知っている」+「名称はわからないが、相談窓口があることは知っている」の合算は50%を超えていました。

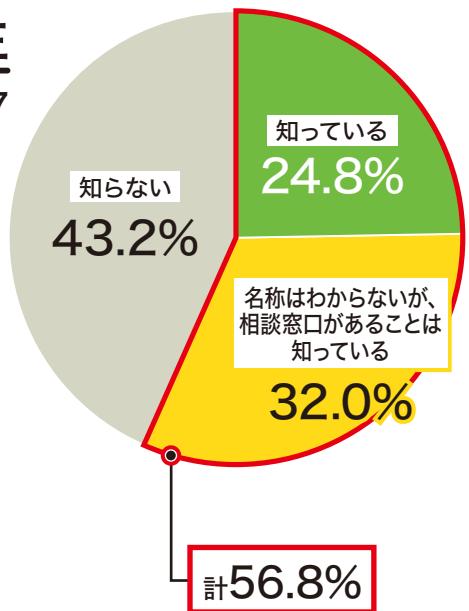
中学生

n=2,463



高校生

n=2,537



東京都から中高生の皆さんへメッセージ

中学生・高校生の過半数が、インターネット上で知り合った人とやりとりをしたことがあることがわかります。

インターネット・SNSは同じ趣味を持つ人同士でつながれるなど、とても便利なツールですが、趣味などのたわいもない話や日常的な話題の投稿をきっかけに、知り合った人とのトラブルに巻き込まれることもあるなど、危険をはらんでいます。

東京都では、インターネットやスマートフォンに関する各種トラブルについて、電話やLINE、メールで相談できる窓口「こたエール」を開設しています。(無料)

次ページのコラムに詳細を掲載していますので、少しでも不安なことがあれば気軽にご相談ください。



東京都は、青少年とその保護者の更なるネットリテラシー向上を目的に、「ネッフグ (ネットとつながるGoodなミライ) Tokyo」として、新たな取組を始めました。



近年、SNSやオンラインゲームなど
ネット上で知り合った人とのトラブルが多く発生しています。

＼SNSのキケンから身を守ろう！／

① SNS上に自分の情報を
むやみに書き込むのは
キケン！



② SNSで知った情報を
そのまま信じるのはキケン！



③ SNSやオンラインゲーム等
で知り合った人とむやみに
会うのはキケン！



ネット・スマホのトラブルや悩みの相談はこちちら



相談無料！秘密は守ります！

「こたエール」は、子供のネット・スマホの
トラブルや悩みに関する総合相談窓口です。

電話相談 ☎ 0120-1-78302 月～土曜日 15時～21時(祝日・年末年始を除く)

メール相談

24時間いつでも受付
(返信は電話相談受付時間内に行います。)

詳細はホームページへ
<https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/>



LINE相談

月～土曜日 15時～21時
(祝日・年末年始を除く)

友達登録、相談はこちちら
<https://line.me/R/ti/p/@373suajs/>



東京都から皆さんへ

東京都では、皆さんのお意見を大切にして、子供の笑顔があふれる社会をつくります。

皆さんのが自分らしく健やかに成長できるように、
皆さんと一緒に考えながら、いろいろな取組を行っていきます。



東京都こども基本条例

子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせる
ように東京都こども基本条例ができました。
この条例は子どもの権利条約の精神に
のっとり作られています。

東京都こども基本条例ハンドブック(中高生版)の内容は
こちらをチェックしてください!



こども未来アクション

皆さんの声や思いをもとにした、子供の笑顔があふれる社会をつくるための取組をまとめています。
令和6年度にSNSアンケートで聴いた声や取組への反映状況も掲載しています。



ギュッとチャット

ギュッとチャット

相談無料！

日常の悩みや不安を、匿名で気軽にチャット相談することができます。相談相手を選んで継続して相談することもできます。例えばこんなことを相談できます

- 進路について悩んでいる
 - 勉強と部活の両立が難しい
 - 友達との関係でモヤモヤすることがある



こちらから
お気軽に
ご相談ください。



◀ Instagram
ギュッぴいのことを
もっと知りたいときは
フォローしてほしいっぎゅ